



平成 20 年 4 月 18 日

各 位

会社名 石光商事株式会社
 代表者名 代表取締役社長 森本 茂
 (JASDAQ・コード番号：2750)
 問合せ先 常務取締役
 経営企画室管掌管理部門長 久保 潤一
 (電話番号 078-861-7791)

平成 20 年 3 月期通期 (連結・個別) 業績予想との差異に関するお知らせ

平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想について、平成20年2月15日に発表いたしました通期業績予想との差異を下記のとおりお知らせいたします。

1. 平成 20 年 3 月期通期業績予想との差異 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(1) 連結

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回(2/15)予想(A)	36,622	156	171	△22
今回修正(B)	36,637	△4	△68	△153
増減額(B-A)	15	△161	△240	△130
増減率	0.0%	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成19年3月期)	35,638	269	292	228

(2) 個別

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回(2/15)予想(A)	36,278	26	14	△150
今回修正(B)	36,315	△87	△173	△256
増減額(B-A)	37	△114	△187	△106
増減率	0.1%	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成19年3月期)	35,213	126	192	192

2. 業績予想との差異の理由

当社個別業績につきましては、売上高は、食品が減少するもののコーヒー製品の増加により前回予想より若干上回る見込みであります。

利益面につきましては、中国製冷凍餃子の農薬事件による影響とサブプライムローン問題に起因する円高・株安による評価損等の影響を大きく受けております。

1月末に発生いたしました中国製冷凍餃子事件の影響により、中国産離れの広がりに加え、中国当局（CIQ）の検査強化による実質出荷ストップや大幅遅延により、食品原料の野菜類については大幅に数量が減少し、また冷凍加工食品については近時漸く一部出荷が再開され始めた状況下であり、中国食品全般において取扱量の減少により売上高の減少となり、現地価格の高騰による売上原価の上昇により売上総利益が減少する見込みであります。

また以上の要因に加え、サブプライムローン問題に端を発した国内株安・円高により、退職年金資産の時価下落に伴う評価損 86 百万円を退職給付費用として一般管理費に追加計上することにより営業利益は前回予想を下回る見込みであります。

上記理由に加え、外貨建資産の期末為替相場での換算差額 53 百万円を為替差損として営業外費用に計上することにより、経常利益、当期純利益は前回予想を下回る見込みであります。

連結業績につきましては、主として当社個別の業績修正の要因に伴い修正するものであります。

なお、配当につきましては、平成 19 年 11 月 9 日に発表しております「平成 20 年 3 月期配当予想の修正及び役員報酬減額に関するお知らせ」のとおり、1 株当たり 10 円の普通配当を実施する予定であります。

※ 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢、市場の需要動向、為替相場の変動等様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

以 上